

救命救急の実際

一時救命処置 (BLS) と体外式自動除細動器

新卒者・新任者が「救命救急の実際～一時救命処置 (BLS) と体外式自動除細動器～」を受講しました。研修者は事前にDVDを視聴し、急変時初期対応の流れや心肺蘇生の手順等について知識を確認した上で、インストラクターによる指導のもと実技演習を行いました。



当院のクリティカルケア認定看護師が作成したDVDを視聴しました!



適切なバックバルブマスクの当て方など、気道確保や人工呼吸について理解を深めることができました。



複数人での対応を演習しました。胸骨圧迫では、一定のリズムを保つことが難しいことや、自分が思っているよりも深く圧迫する必要があることを実感していました。



離れてください!



AEDの正しい使用手順について確認しました。



研修者の声



- 実際の現場の状況を聞くことができ、場面を想像しながら実践できた。
- 応援要請や役割分担など、声をかけあいながら対応することの大切さを学んだ。